

日本農芸化学会2015年度大会 SPring-8 ランチョンセミナー

日時：2015年3月29日(日) 12:30～13:20

会場：B33会場(教養B棟3F B33)

大型放射光施設SPring-8を利用したタンパク質結晶構造解析

講演者：熊坂 崇

SPring-8 / (公財)高輝度光科学研究センター
タンパク質結晶解析推進室 室長代理

大型放射光施設SPring-8は、世界最高性能の放射光を利用することができる大型の実験施設であり、国内外の研究者等に広く開かれた共同利用施設として、幅広い分野の研究に用いられています。例えば生命科学の研究分野では、タンパク質結晶構造解析をはじめ、タンパク質の溶液中の構造を調べる小角散乱法、タンパク質のダイナミクス研究のための時分割散乱・回折法、金属元素などの局所構造や電子状態を調べるX線吸収分光法(XAFS)、微結晶を利用した1分子計測などに利用されています。

タンパク質結晶構造解析には、BL41XU(アンジュレーター光源)、BL38B1(偏向電磁石光源)の2本の共用ビームラインの他、BL32XU(アンジュレーター光源)、BL26B1、BL26B2(共に偏向電磁石光源)の3本の理研ビームラインが共同利用に供されています。原則年2回(例年6月および12月)の課題募集において採択された実験課題にビームタイムを配分し、来所の上で実験していただきます。ただし、測定に慣れた利用者向けに来所しなくても測定のできる遠隔測定システムも用意しています。また、大学院生が主体的に行う実験課題に旅費の援助を行う萌芽的研究支援制度もあります。

今回、SPring-8の運転・維持管理及び利用支援を行っている公益財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)では、SPring-8をタンパク質結晶構造解析にさらに活用していただくため、施設の取り組み・研究内容・利用方法などをご紹介するランチョンセミナーを開催します。特に、タンパク質結晶解析の課題については、利便性を高めるために運用制度の大幅な変更を来年度から実施しますが、この内容についてもご紹介いたしますので、奮ってご参加ください。



公益財団法人高輝度光科学研究センター

<http://www.spring8.or.jp/ja>